

令和 6 年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価」

大阪市立長吉第二幼稚園

令和 7 年 3 月

大阪市立長吉第二幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との関わりのもちにくさが課題である。地域の方との関わりでは、関わり方を状況に合わせて変えながら、心の交流が図れるように工夫し、直接的な交流が再開できたときにつなげていけるようにする。また、園内での異年齢交流を通し、人と関わる楽しさを味わえるようにしていく。
- 外出できる機会が減っている現状からも、子どもたちの体力向上に努めていく必要性を感じている。日々の園内での遊びに加え、地域の公園や園外保育なども活用しながら、存分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。
- 実態に応じ、必要な基本的な生活習慣が身につくよう、指導内容を工夫し、家庭と連携しながら、継続的に取り組んでいく。
- 教育環境の充実を目指し、教員研修を行い、就学前教育カリキュラム改訂版を活用し、資質向上に努める。また、教員間で幼児の実態把握や教材研究を行ったりしながら、子ども達が様々な活動に主体的に取り組むことができるよう、環境構成を行う。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートでの項目で「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安心・安全な教育の推進】

- 令和6年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。
- 令和6年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和6年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。
- 令和6年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和6年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安心・安全な教育の推進】

- 令和6年度末の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」が100%であった。いろいろなふれあい活動が見直されながら復活した過程で、人とかかわることの大切さやその中で育っていく子どもの姿などを話し合い意識しながら取り組むことができた。
- 令和6年度末の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で、「そう思う」「やや思う」が100%であった。様々な訓練や安全教室、身近に起こった災害などを通し、有事の際どのように行動するかを自分事として考え体感している子どもの姿が多くみられた。またそれらの安全教育の多くに保護者にも参加していただくことで保護者理解にもつながった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和6年度末の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」が100%であった。異年齢でのかかわりが促進されることで「やってみたい」と刺激を受ける子どもが増え、体を動かすことをいろいろな組の友達と楽しむ姿につながった。
- 令和6年度末の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」が94%であった。季節や発達、子どもの実態に合わせた保健指導を行ったことで、身につけ生活に活かす姿が見られた。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和6年度末の保護者アンケートでの項目で「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」が100%であった。年度初めに子どもの意欲や主体性について教職員間で話し合いを重ねたり振り返りをしたりしたことが環境づくりにも生かされた。

大阪市立長吉第二幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標通りに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。 ○ 令和6年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を通していろいろな人とのふれあいを深め、親しみや思いやりの気持ちを育む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 異年齢で関わる活動の中で、より関わりが深まるような遊びや活動を月1回以上行う。 ② 地域の方や近隣校と発達段階に応じた交流を実施する。 ③ 人との関わりに関する実践記録をとり、職員間で検討する。 	A
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間計画に基づき、避難訓練や安全指導を行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「警備及び防災計画」や「安全（防犯）対策マニュアル」に基づいた年間計画を作成し、避難訓練を年8回実施する。 ② 降園指導を年3回実施し実態把握に努め、子どもや保護者に向けた安全指導を発達段階や実態に応じて行う。 	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>令和6年度の中間保護者アンケートでは、「幼稚園はいろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で「そう思う」「やや思う」の肯定的な意見が100%という結果となった。</p>
<p>① 年度当初から教職員が連携し、普段からクラス間を行き来して遊ぶ経験を積み重ねたことで、自分のクラス以外で遊ぶことにも安心し、異年齢での関わりが広がっていった。1学期から、パン屋さんやハンバーガー屋さん、自動販売機などの遊びを通して、5歳児は年下の</p>

友達に対して、遊び方を教えたり友達の思いを知ろうとしたりする関わりがあり、普段の関わりや遊びを通して相手の思いを汲み取ろうとする姿へとつながった。そのような1学期の取組から、園外保育でも異年齢で手をつなぎ一緒に遊んだりするという、自然な姿となっている。2学期には運動会の取組で、全学年で一緒に体操やダンスをする活動を取り入れたことで刺激を受け合い、一緒に活動する楽しさを感じた。3学期は生活発表会のお話や楽器遊びなど、各クラスが取り組んでいる様子を互いに見ていて、3・4歳児は5歳児への憧れの気持ちをもち、5歳児は3・4歳児に対して励ましたり応援したりし、行事後も異年齢でそれぞれの遊びを一緒に楽しみ関わりが深まつたことで、相手を思う気持ちが育つた。1年間を通して、教師が見通しをもち異年齢で関わる活動を進めたことで、互いに理解し合って関わる姿へと繋がった。

- ② 保育所や幼稚園、老人ホームとの交流を行った。保育所、幼稚園との交流では、いろいろな友達と遊ぶ楽しさを感じ、高齢者との交流では、喜んでほしい、笑顔になってほしいと自分なりの思いをもって関わることができた。夏には5歳児が長原小学校で5年生とプール交流を行った。5歳児が近隣の小学校と交流し、授業見学をさせてもらったり1年生と遊んだりする中で小学生の優しさを感じ、進学にも期待をもつことができた。来年、新1年生になったときに6年生と関わることができるように配慮のもと実施し、温かな交流となった。9月には園児の祖父母を園に招き敬老の集いを行い、昔遊びを教えてもらったり一緒に遊んだりし祖父母の方々とふれあいの時間を楽しんだ。10月は平野支援学校の児童を招き一緒にパラバルーンやふれあい遊びした。活動の中でふれあい遊びを多く取り入れたことで緊張がほぐれ、会の中でも園児から積極的に関わっていく姿が見られた。11月には支援学校の文化祭のリハーサルを観に行った。小学部の児童が一生懸命演奏している姿に応援したり、演奏を楽しんだりし、終わったあとには感じたことを伝える姿があった。12月に長吉中学校の3年生が家庭科の授業の一環で手作りのおもちゃを持参し、子どもたちと一緒に遊んで交流した。地域の方々や小中学校の児童など、いろいろな人と交流することで、優しくしたりされたりし、人に親しみをもって関わる楽しさや嬉しさを感じる機会となった。
- ③ 第4ブロック研究部の今年度の研究テーマに沿って子どもたちの人と関わる姿の実践記録を取り、全職員でもその記録を検討し、子どもの姿や育ちについて話し合ってきたことで全職員がどのクラスの子どもにも理解が深まつた。また、他園の実践記録を園内で回覧し、子どもたちが人と関わることの楽しさを感じられるような教師の教育的配慮を学ぶことができた。

取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】

令和6年度末の保護者アンケートでは、「幼稚園は安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」の肯定的な意見が100%という結果となった。

- ① 「警備及び防災計画」や「安全（防犯）対策マニュアル」に基づき「学校安全計画」を作成した。年間計画に沿い避難訓練を9回実施した。年間8回の予定数を上回つての実施であつた。今年度は、企画立案からすべての教職員が分担して携われるよう計画したことから、教職員の有事に対する意識が大きく変わり、避難訓練の大切さを実感するに至つたことが避難訓練回数の増加につながり、子どもたちの経験をひとつ多く積み重ねる結果となつた。

3歳児は初めての避難訓練では落ち着かない姿があつたが、回を重ねることで避難の仕方を知り、慌てずに避難することができた。4歳児は実際の地震や火事を紙芝居や日常生活で得る知識などで具体的にイメージし災害の恐ろしさを感じながら必要感をもつて取り組めた。5歳児は5月初めに親子で行った「大阪市立防災センター」での様々な経験や、7月に実施した消防署員による「花火教室」での活動を生きた知識に変え、避難訓練に取り組み安全への意識を更に深めていく姿があつた。1月の近隣小学校との地震・津波合同避難訓練では、小学生の取り組みを実際に見たり教師から体験談を聞いたりしたことで、有事を自分事としてとらえる姿が多く見られた。避難訓練を通して様々な追体験や実践をしたことがいざという時のために訓練を積むという姿勢につながつている。

- ② 降園指導を3回実施した。交通状況や降園の際の実態把握に努め、より安全に通園できるよう気を付けたい事柄や危険だった事例などを口頭で機会を捉えて知らせていった。繰り返し知らせたり子どもの実態から話をしたりすることで啓発につながっている。

また、8月に実施した大阪府警による「交通安全教室」では園児向けに道路と信号の渡り方を実践を交えて、保護者に向けては幼稚園期だけでなく小学校進学も見通した家庭での安全教育のあり方についてお話しいただいた。1月には「防犯教室」も実施し安全への普段からの心構えを確かなものにすることができた。安全指導を保護者を交えて行うことで、家庭内の安全に対しての啓発や幼稚園の安全教育への取り組みをわかりやすく伝えることができ、継続した安全指導へとつながった。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】

- 今後も、いろいろな人とのふれあいを通じ豊かな心を育むことをねらい、保育内容の工夫や教師の教育的意図をもった援助を行う。

取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】

- 安全教育の必要感を教師、子ども、保護者ともに更に高めながら取り組んでいくようする。

大阪市立長吉第二幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標通りに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 <input type="radio"/> 令和6年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。 <input type="radio"/> 令和6年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】 <input type="radio"/> 遊びを通して進んで体を動かす楽しさを味わえるような活動を工夫する。	A
指標 ① 子どもの実態に応じて体を動かして遊びたくなるように環境や活動を工夫する。 ② 季節に応じた体操や遊びの年間計画を作成し、学期ごとに見直しを行う。 ③ 地域の公園や近隣校を活用し、広い場所で体を動かして遊ぶ機会を年4回もつ。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 <input type="radio"/> 季節に合わせた保健指導を子どもの実態に応じて実施するとともに、保護者への啓発を行う。	B

指標

- ① 季節や子どもの実態・発達段階に合った保健指導を月1回行う。
- ② 保護者が子どもと一緒に健康的な生活習慣に関心をもてるよう啓発の方法を工夫する。（ほけんだより、ホームページへの掲載など）

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】

令和6年度末の保護者アンケートでは、「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」の肯定的な意見が100%という結果となった。

- ① 週1回の打ち合わせを通して、子どもたちの遊ぶ様子などについて共通理解を行い子どもたちが体を動かすことを楽しめる環境整備を行った。春にはスケーターや三輪車に乗ることを存分に楽しめるようにサーキットのコースを作ったり、夏には水遊びやどろんこあそび、秋には様々な運動遊具を使って遊べるようにしたりと、発達段階や興味関心にあった運動遊びを楽しめる環境を工夫した。そして、教師もその都度一緒に遊び、励ましたり喜びを共有したりすることにより継続的に体を動かす遊びを進めていった。また、運動会のダンスや体操の振り付けを子どもたちと一緒に考えたことをきっかけに今まであまり曲に合わせて遊ぶことに興味がなかった子どもも進んで参加していった。誕生会の先生からのプレゼントで長縄を披露した。そのことをきっかけにやってみたいと好きな遊びの時に挑戦する姿が見られた。3学期には、寒い日が続く中、園庭に体が動かしたくなる曲を流し、子どもたちが自然と戸外に出てくるようにしていった。その流れからマラソンも実施し、無理なく取組ことが出来た。マラソンを通して、寒さに負けずに戸外で進んで遊ぶ姿が見られた。

今年度の園外保育の行き先を子どもの実態に合わせて新たに開拓し、存分に体を動かせる活動を計画した。活動に期待をもつことでしっかりと自分で歩くことができた。

一年を通して活動内容をその都度見直し、実施していったことで友達と一緒に体を動かす楽しさを感じ、積極的に遊ぶ姿へつながっていった。

- ② 体操やふれあい遊びの年間計画を作成することで見通しをもってクラスや集会で実施できた。興味や季節にあった体操やダンスをし、また3クラス共通の体操やダンスにしたことでの他のクラスとも自ら関わって遊ぶ姿がみられた。

保育所や他園との交流の中で体操を教え合ったことが刺激となった。教えてもらった遊びを敬老の日の集いや未就園児園庭開放時にも一緒にし、体を動かす楽しさにつながった。

体操やふれあい遊びを通して人との関わりが広がり、友達と一緒に様々なことに挑戦しようとする姿やお互いに励ましあい意欲的に体を動かす姿になっていった。

- ③ 今年度は地域散歩、園外保育合わせて7回実施した。公園の大型遊具で体をダイナミックに動かす楽しさを経験したことから幼稚園でも鉄棒や雲梯に挑戦する姿も見られるようになった。また、公園横のグラウンドではかけっこなど体を存分に動かして遊ぶことができた。

長原小学校のプールで5歳児が5年生と交流した。また、12月には4・5歳児が小学校の運動場にて凧揚げで交流した。幼稚園とは違い広い場所で安全に、また5年生と一緒に安心して思う存分遊ぶことができ、体を動かす意欲へつながった。

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

令和6年度末の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で「そう思う」「やや思う」の肯定的な意見が94%という結果となった。

- ① 毎月、子どもの実態や課題を担任と共有しながら、子どもの発達段階に合わせて保健指導を行った。季節や時期に合わせた指導内容や指導の進め方を考えて各学年に応じた指導案を作成し、指導後には反省を記録することで、毎回の指導につなげた。生活習慣を整える指導（4月手洗いの仕方・和式トイレの使い方、5月歯みがき・歯と口の健康、11月うがいの

仕方、2月早寝・早起き)、季節に合わせた指導(6月熱中症対策、9月けがの予防、12月感染症予防、1月姿勢、3月自分の身体の成長)、食育(7月バランスよく食べよう・3色食群)いのちの安全教育(10月プライベートゾーン)など視覚教材やイラスト、模型などを用いて子どもが興味、関心を持って指導を聞けるよう工夫した。また、指導を聞くだけでなく、保健指導の中でグループ活動や発表できる場を設けたり、子どもが体感できる指導を取り入れたりしたことで、子どもはより楽しんで学ぶことができた。毎月の保健指導により子どもたちに意識づけることはできたが、幼稚園での生活に慣れてきたことや、寒さや冬休み明けの生活リズムの乱れなどが保護者アンケートの結果につながったと考えられる。(肯定的な意見が中間より6%低下)

- ② ほけんだよりに保健指導の内容を載せ、指導内容を保護者に啓発した。また、子どもたちの様子がよく分かるようにホームページにも保健指導の様子を掲載したこと、幼稚園での取組を外部に発信できた。

また、昼食参観後には保護者への講話として、実際に保健指導で使用する視覚教材や絵本を見てもらい保健指導の内容を伝えた。幼稚園での取組を知つてもらう機会になり、「家庭でも取り組んでみます」「幼稚園で指導してもらっている内容がよく分かりました」との声が多数あつた。

10月には歯科衛生士、歯科園医、歯科医師と協力し、歯みがき指導を行つた。歯科医師から保護者に向けて『軟食化による発育不全とむし歯リスク・習癖』について講話があつた。また、歯科衛生士から子どもへの歯みがき指導では、エプロンシアターを見たり、実際に子どもがその場で歯を磨いてみたりした。指導後3歳児は、エプロンシアターを視覚的に見ることによって虫歯に対する意識がもてた。4歳児は、習慣化されてきた歯磨きの重要性を改めて感じる機会となつた。5歳児は、磨き方のポイントを教わつたことで意識して磨こうとする姿が見られた。

11月からは、保健指導で使用した視覚教材を保健室前のホワイトボードに掲示し、保健指導の内容を保護者に啓発した。子どもたちが掲示物で遊んでいる様子もホームページに掲載したこと、外部にも発信できた。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- 今後も季節や子どもの興味に合わせた教材研究を行い、環境を再構成していく。

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- 今後も子どもの発達段階や課題を考えながら、子どもが興味をもてるような保健指導を行う。
- ホームページに掲載する頻度を上げ外部発信に努める。

大阪市立長吉第二幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標通りに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 <input checked="" type="radio"/> 令和6年度の保護者アンケートでの項目で「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <input checked="" type="radio"/> 子どもの実態把握に努め、就学前教育カリキュラム改訂版を活用し、子どもが主体的に遊べる環境を充実をさせる。	
指標 ① 子どもが主体的に遊びたくなるような環境について、週1回教員間で検討する。 ② 子どもが園内の自然に興味や関心をもてるよう、栽培物の年間計画を活用しながら、野菜や果物、果実などにふれる機会を月2回以上もつ。 ③ 大阪市立幼稚園教育研究会第4ブロック研究部の研究テーマに沿った視点で保育を振り返り、実践に生かす。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
令和6年度末の保護者アンケートで、「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で、「そう思う」「やや思う」の肯定的な意見が100%という結果となった。	
① 毎週木曜日、担任間で保育計画の打ち合わせを行っている。その時に『就学前教育カリキュラム改訂版』『世界を拓くなにわっ子』を活用することで、自園の教育課程を見直す機会にもなり、子どもの主体的な活動につながる内容について検討することができた。 お店屋さんごっこや園庭での体を動かす遊びの場など、継続して遊べる環境を工夫することで遊びの深まりがあり、打ち合わせにより全職員がどのクラスの子どもにも理解が深まった。	
運動会や生活発表会の各クラスの遊びは、常に見合える環境だったので、他のクラスの遊びへの関心が高まり、好きな遊びで他のクラスの運動遊びや劇遊びに入ったり、教えあつたりする自然なかかわりが見られた。	
② 月3回以上自然と関わる機会をもつことができた。3、4歳児は、園庭の自然や環境に親しみがもてるよう散歩や自然探検ごっこなどの機会を多くもつた。スマモやイチゴ、サクランボ、キンカン、ユズなどの果実に興味が高まり収穫は感動体験となった。5歳児はソラマメの収穫後に製作を楽しみ、ハチクの収穫や大きなタケノコの感動は絵画に表れた。	
4、5歳児でイネの栽培を種もみから行った。発芽したときは喜びも大きくその後も興味をもってみる姿があった。	
サツマイモの栽培では、昨年度の反省から場所を園舎裏から園庭に変更したことで、子どもたちの目にふれやすく、日当たりがよく豊作となり、収穫の喜びが味わえた。老人施設の方とのふれあいでは、ツルで作ったリースをプレゼントし喜ばれた。また、ワタや枝を製作活動に活用し、身近な環境を取り入れて遊ぶ楽しさを味わった。	
様々な植物の栽培を通して、収穫の喜びを味わうだけでなく、いろいろな活動に広げたり	

教師がアンテナを張りその栽培から教材研究を深めたりしたことが栽培物を生かした保育の発展につながった。

- ② 6月に第4ブロック研究保育を行った。人とのかかわりの研究テーマより、全教員がどのクラスの子どもにも理解が深まるよう、課題について共通理解や話し合いを深めた。また研究保育当日には、分科会で他園の先生方と保育内容や子どもの姿について討議し、「教師のチームワークが子どもの安心感につながっている」と評価された。2学期以降も、1学期の3クラスのかかわりが土台となり、日常的に自然なかかわりが増えた。全教職員の他クラスの児への理解深まったことが、保育の質の向上につながった。

次年度への改善点

- ・今後も週案の打ち合わせの時に『就学前教育カリキュラム改訂版』の更なる活用を図り、資質向上に努める。
- ・栽培計画を見直し、より豊かな直接体験ができるようにする。

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立長吉第二幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

- 幼稚園が、園児の実態をとらえてねらいや意図を明確にし、保護者とともに喜びを共有しあって教育をすすめていることがわかった。
- 全ての取組において、保護者アンケート結果が目標値を大きく超えて達成している。幼稚園教育に対して保護者が協力的で、よく理解してくださっている。教職員の努力の結果である。

2 年度目標ごとの評価

【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- アンケート結果がいずれも肯定的な意見が100%と目標値を大幅に上回っている。教育内容を保護者に啓発し、理解が進んでいる。
- 地域や学校など、温かい交流を今後も続け豊かな経験につなげてほしい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- アンケート結果がいずれも肯定的な意見が90%以上で目標値を大きく上回っていることが素晴らしい。
- 基本的生活習慣について、3年間の指導の積み重ねで子どもたちの身についていることがよくわかった。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートでの項目で「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- アンケート結果で肯定的な意見が100%と目標値を大幅に上回っている。保護者が幼稚園を信頼、協力していることがよくわかる。
- 園内の豊かな自然を活かし、家庭ではできないさまざまな体験ができるよう環境を工夫されていることがわかった。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 教職員の努力が保護者や地域に伝わり、連携がとれている。小学校への接続という面において、保護者にも子どもにとどても安心感があるため、引き続き連携を深めてほしい。
- 今後も「選ばれる幼稚園」であり続けられるよう、教職員一丸となって取り組んでいってほしい。